

令和七年度後期「宇治学コース」

◆受講料

各講座一回 七百元

五枚綴りチケット 二千八百円

《歴史コース》と《宇治学コース》
で使えます

九月～十一月の講座日に販売

◆定員 先着 200名

◆申込み

講座日、会場で受付致します
事前申込み不要

◆問合せ

TEL 090・8988・4383

宇治市民大学事務局 丸山

◆ご注意

生涯学習センター専用の駐車場は
ありません

《テーマ》芸能と生業の中・近世宇治

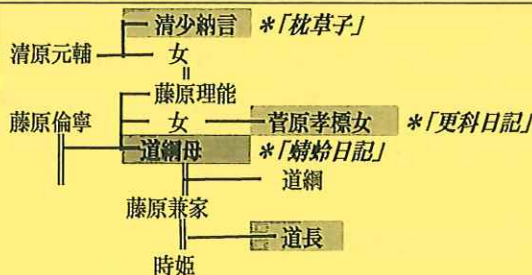
講座時間 午前10時～11時30分

9/23(祝・火) *開催日 注意	宇治平等院と舞楽・田楽・遊女 ～『梁塵秘抄』今様から～ 同志社大学文学部教授(前学長) 植木 朝子さん
10/11(土)	能への誘い 頼政と平等院 ～能『頼政』を深掘りする～ 能楽師 観世流シテ方 重要無形文化財保持者(総合認定) 鷺尾 世志子さん
11/1(土)	室町・戦国時代の宇治 ～日常と戦乱～ 立命館大学授業担当講師 川口 成人さん
11/22(土)	ひとつの宇治茶業史 ～濃茶・薄茶・煎茶～ 元宇治市歴史資料館館長 坂本 博司さん
1/24(土)	『蜻蛉日記』に描かれた宇治 京都橘大学文学部教授 野村 倫子さん

「蜻蛉日記」 藤原道綱母の系図

*「更科日記」の作家
の菅原孝標女にとっ
て、藤原道綱母は叔母
にあたります。

〈文責：宇治市民大学
新井〉



宇治市民大学

市民の手による、市民と地域のための大学



会場 宇治市生涯学習センター

主催 宇治市民大学運営スタッフ会

共催 宇治市生涯学習センター

宇治市民大学 令和7年度後期講座

講師からのひとこと

9/23 宇治平等院と舞楽・田楽・遊女～『梁塵秘抄』今様から～ 植木朝子さん

後白河院は、平安時代末の流行歌謡・今様の詞章を集めて『梁塵秘抄』を編みました。現存する『梁塵秘抄』には宇治平等院を歌った印象的な今様が残されています。

○をかしく舞ふものは 巫小櫓葉車の筒とかや 平等院なる水車 囃せば舞ひ出づる蟠螂蝸牛

○宇治には神おはす 中をば菩薩お前たち 橘小島のあだぬし 七宝蓮華は鴛鴦剣

本講座では、これらの今様を出発点に中世の平等院をとりまく芸能の諸相を眺めてみたいと思います。

10/11 能への誘い 頼政と平等院～能『頼政』を深掘りする～ 鷲尾 世志子さん

宇治平等院と言えば源三位頼政が縁深い。平等院の境内・扇の芝にて自刃した頼政が主人公として描かれている能『頼政』を通して能楽の魅力を皆様にお伝えできればと思っております。能楽師の視点から宇治の戦いに臨んだ頼政の人物像を紐解きつつ、能の鑑賞入門として聴講していただければ幸いです。前半は能楽についてわかりやすく解説し、後半は能『頼政』を深掘りします。皆様にとって能楽が身近な芸能となるようお話させていただきます。

11/1 室町・戦国時代の宇治～日常と戦乱～

川口 成人さん

室町・戦国時代の宇治といえば、応仁・文明の乱後に南山城の国人たちが結んだ山城国一揆と、その集会の場となった宇治平等院の関係が著名です。一方で、当時の史料からは、宇治に生きる人々の日常生活や、戦乱とのかかわりをはじめ、興味深い出来事を知ることができます。この講座では、主に公家や僧侶の日記を中心に取り上げ、日常と戦乱という観点から、室町・戦国時代の宇治について考えてみたいと思います。

11/22 ひとつの宇治茶業史～濃茶・薄茶・煎茶～

坂本 博司さん

意外に思われるのですが、お茶を扱った展覧会や講座は人気がありません。宇治市歴史資料館の開館時から今日まで、変わっていないはずです。お茶や宇治茶に対する一般的な認識や関心と、歴史的・文化的な切り口とがうまくかみ合わずに、それが補正されないまま、距離を埋められずにいるのだと思います。今回の講演では資料館での葛藤と格闘、そしてようやくとりついた角度の違った見方・捉え方について紹介します。

1/24 『蜻蛉日記』に描かれた宇治

野村 倫子さん

『蜻蛉日記』の作者藤原道綱母は安和元年(968)と天禄二年(971)の2回、初瀬詣での途中宇治に中宿りをしている。都からほとんど出ることのなかった当時の女性にとって宇治川に臨んだ風景は珍しく、日記にはその時の「網代」や「舟」、「鵜舟」などの景色が、記録されている。日記の当該箇所から、一条天皇を擁して権力の中樞に上り詰めていく藤原兼家の妻の1人である筆者の胸に去来するものを探っていく。